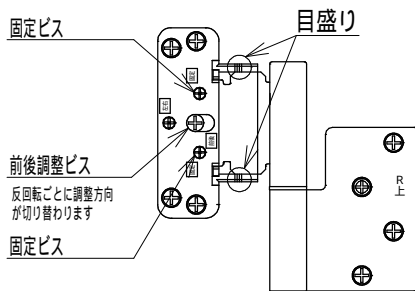


蝶番の前後調整

建て付けの調整は手動式プラスドライバーを用いて行います。

お願い 電動ドライバーは絶対に使用しないでください。

< 3次元調整蝶番の場合 >



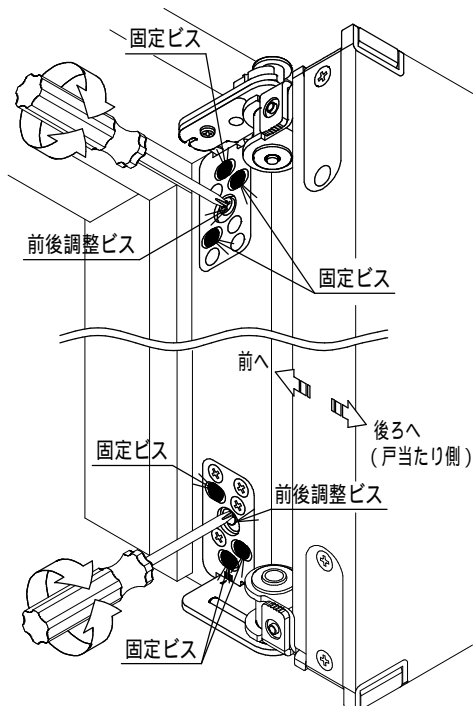
枠側蝶番（上、下）の各固定ビスを2本とも緩めます。

前後調整ビスを回して、目盛りを目安に位置を決めます。
調整可能範囲は前へ4 mm、後ろへ0 mmです。

固定ビスを締め込みます。

S983Ie2204nKEP 第1版

< ピボット蝶番の場合 >



(1) 枠側蝶番の固定ビスを緩めてください。

(2) 枠側蝶番の前後調整ビスを回してドア本体を前後に移動させてください。

左右どちらに回しても動きます。

調整範囲（出荷基準位置から）

後ろ（戸当たり側）へ：2 mm

前へ：2 mm

(3) 固定ビスをしっかりと締めて固定してください。



固定ビスはしっかりと締めてください。
締め付けが弱いと蝶番がずれて故障の原因となります。

お願い

ドア本体のデザインによっては蝶番が動きにくい場合があります。その場合はドア本体を調整する方向に押しながら動かしてください。

S861Ie1906nKEP 第5版